



図書館をもっと便利に! もっと楽しく!

●学習席・閲覧席をご利用いただけます。

【予約不要・FREE Wi-Fi あり・一部席電源使用可】

中央図書館2階(30席) やさと図書館(36席)

●じゅうたん敷きのコーナーでゆったりと過ごせます。

(こども図書館・やさと図書館)

赤ちゃん向けの本や「子育て応援コーナー」があり、お子さんの様子を見ながらお選びいただけます。

6月のおはなしかい

【こども図書館本の森】

6日(土) おはなし玉手箱(午前10時～)

11日(木) ひよこのおはなしかい(午前10時30分～)

20日(土) むかしむかしのおはなし会(午前10時～)

【郷の本棚やさと図書館】

13日(土) おはなしフレンズ(午後2時30分～)

6月のおすすめ

梅雨でこもりがちなの時こそ、

読書にどっぷりハマってみては?

雨に関する小説をご紹介します。

「オール電化・雨月物語」 青柳碧人著 PHP 研究所

「雨のやまない世界で君は」 綾崎隼著 朝日新聞出版

「雨露(うろ)」 梶よう子著 幻冬舎

「雨上がり、君が映す空はきっと美しい」 (YA) 汐見夏衛著

スタート出版

「雨にも負けず～小説 IT ベンチャー」 高杉良著 カドカワ

「雨夜(あまよ)の星たち」 寺地はるな著 徳間書店

「雨滴(うてき)は続く」 西村賢太著 文藝春秋

「雨上がりの川」 森沢明夫著 幻冬舎

「雨に泣いている」 真山仁著 幻冬舎

「さみだれ」 矢野隆著 徳間書店



▲「恋瀬川の水遊び」大正12(1923)年

『石岡の歴史』より 石岡市史編さん委員会

時の記憶

シリーズ 247

「河童とカアピタリ餅」

岡文化振興課(支所)

TEL 43-1111(内線1457)

河童は、四〜五歳ほどの子どもの背格好で、口鼻が突き出ていて眼光が鋭く、背中には甲羅を背負い、頭には皿を乗せ、手足に水かきがあるイメージで人々に信じられてきました。おもに河川や湖沼などの水辺の闇が息づく場所から出没するといわれています。

河童は、人や馬を水中に引き込んで、肝や尻子玉を抜いて腑抜けにして溺死させたりする恐ろしい存在として伝えられてきました。

かつて石岡の子供たちは、集落近くの川で盛んに水遊びをしていました。子供たちが水遊びをしていて河童に引き込まれないように(水難事故に遭わないように)との願いから、十二月一日の早朝に「カアピタリ餅(川浸り餅)」という丸餅を作り、子供たちが水神様の祠にお供えをした後、近くの橋まで行って河童に捧げる二〜三個のカアピタリ餅を川に投げ込む風習がみられました。また、河童に尻子玉を抜かれないように、子供たちは川にお尻を浸すというまじないごともしていました。

ふるさと歴史館第44回企画展

「石岡の昔話を掘る其ノ二―出沒! 昔話の妖怪たち―」

期間 / 7月5日(土)まで

場所 / 石岡市立ふるさと歴史館

休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)

(総社1-2-10)

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

桜舞ふ老舗の並ぶ城下町
 青空へ飛び出す春のワンピース
 目覚めたる土の匂いや秋の春
 校庭のボール蹴る子に風光る

やさし俳句会

初蝶の辿^{たど}しさに風やさし
 九十八歳若葉風受け生きてをり
 身の丈を越ゆるつつじの山歩く
 園児らの電車ごっこや花吹雪

いしおか川柳会

もういいよ女の仮面取ってみな
 子を信じ手に手を引かれ富士登山
 砂時計羨まし程くびれてる
 それが良い素のままだから全部好き

石岡俚謡会

若葉萌え立つ 過疎地の田んぼ 爺の一鍬 光り刺す
 春の日差しを 窓辺に受けて 午後のお休み ひと眠り
 我が家自慢の 紅梅見事 父と一緒に 花見酒
 萌える若草 恋瀬の水に 足を浸して 遊ぶ児ら
 八十路越えても まだ鍬頭^{くわがしら} 持って生まれた ど根性
 若い気持で 毎日暮らす 今朝も歩いた 春の道

投稿作品

旅立ちの 春を迎えて あの人も この人も又 希望を胸に
 紛争の火種は尚も 広がって 日々目を凝らす 国際情勢
 庭一面 したれ桜が 主役なり
 結婚を 承諾するが 夢の中

- | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|--------------|
| 小泉 ちよ子 (東光台) | 石塚 芳華 (石岡) | 萩原 清 (宇治会) | 進藤 寿朗 (北府中) | 羽生 俊 (柴内) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 篠原 美千代 (国府) | 大橋 初枝 (小幡) | 松村 寿江 (山崎) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 秋野 もみじ (南台) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 篠原 美千代 (国府) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |
| 助川 浩史 (府中) | 前島 くに子 (貝地) | 路川 愛子 (若松) | 石塚 芳華 (石岡) | 鈴木 恵子 (瓦谷) | 松崎 淑子 (細谷) | 田端 俊行 (三村) | 一色 しのぶ (総社) | 小泉 ちよ子 (東光台) | 小泉 ちよ子 (東光台) |

スポーツ協会だより

第26回

「柔道部」

柔道は、稽古の積み重ねを通してケガや病気に強い身体を作るだけでなく、礼儀や相手を敬う気持ち、忍耐力など精神的にも成長できることが柔道の大きな魅力であると思います。

石岡地区と八郷地区でそれぞれ活動しており、石岡地区では毎週土曜日（石岡一高柔道場）八郷地区では毎週水曜日（八郷中武道館）と土曜日（石岡一高柔道場で合同）で、小・中学生から一般まで楽しみながら稽古に励んでいます。

毎年12月には、石岡親善武道大会を開催しており、市外からの参加も含め盛大に行われます。

随時会員を募集していますので、気軽に連絡ください。

石岡地区柔道部

TEL 080-5652-8443 (中根)

八郷地区柔道部

TEL 090-2634-8788 (小松崎)

